

令和3年度
事業報告書

社会福祉法人

静岡市しみず社会福祉事業団

目 次

I	事務局	1
II	静岡市清水みなとふれあいセンター〔身体障害者福祉センターB型〕	7
III	静岡市清水ひびきワーク〔生活介護事業所〕	10
IV	静岡市清水うみのこセンター〔母子療育訓練センター〕	14
V	静岡市清水うしおワーク〔多機能型事業所〕	
1	生活介護事業	17
2	就労継続支援B型事業	21
VI	静岡市清水うなばら学園〔生活介護事業所〕	25
VII	静岡市清水なぎさホーム〔生活介護事業所〕	29
VIII	障害者相談支援センターわだつみ〔相談支援事業〕	32

I 事務局

障害者総合支援法に基づく法定施設及び受託施設の円滑な運営を図るとともに、経理、出納、物品の取扱い等の各種事務、財産の維持保全、予算、決算事務を行った。

また、指定管理事業者として常に利用者の視点に立ち、長年培ってきた支援技術の提供と障害福祉サービスの充実を図るとともに、経営の健全化と安定化を図った。

1 評議員会の開催状況

回	月 日	会 場	出席者数	主たる審議事項
定時	6月23日	会議室	評議員7人 監事2人	○令和2年度事業報告及び各種会計決算認定 ○理事及び監事の選任 ○報告事項
2	10月20日	会議室	評議員6人	○静岡市清水うなばら学園における虐待事案
3	3月25日	会議室	評議員6人 監事2人	○令和3年度各種会計収支補正予算（案） ○令和4年度事業計画（案） ○令和4年度各種会計収支予算（案） ○役員等の報酬及び旅費に関する規程の一部改正 ○役員の選任 ○報告事項

2 理事会の開催状況

回	月 日	会 場	出席者数	主たる審議事項
1	5月13日	会議室	理事6人 監事2人	○評議員候補者の推薦 ○評議員選任・解任委員会開催
2	6月4日	会議室	理事6人 監事2人	○令和2年度事業報告及び各種会計決算の認定 ○定時評議員会の招集 ○役員賠償責任保険契約締結 ○評議員選任・解任委員会委員選任 ○報告事項
3	6月23日	会議室	理事6人 監事2人	○理事長の選任 ○常務理事選任
4	10月20日	会議室	理事6人 監事2人	○第2回評議員会招集 ○報告事項
5	3月17日	会議室	理事6人 監事2人	○令和3年度各種会計収支補正予算（案） ○第3回評議員会招集 ○令和4年度事業計画（案） ○令和4年度各種会計収支予算（案） ○諸規程の一部改正、制定、廃止 ○役員の補欠の選任 ○報告事項

3 評議員選任・解任委員会の開催状況

回	月 日	会 場	出席者数	主たる審議事項
1	5月26日	会議室	委員3人 理事長	○評議員の選任

4 監査等

区分	実施日	実施者	内 容
会計帳簿監査	5月21日	杉山明喜雄 公認会計士他3人	令和2年度決算に伴う経理監査
決算監査	5月28日	事業団監事2人	令和2年度決算書類及び付属関係書類、 関係諸帳簿との照合、係数検査等
定期監査	12月15日	事業団監事2人	令和3年度前期分各種計算書類等の 確認、業務状況報告

※いずれも、適正、かつ正確に行われているとの報告を受けた。

5 第三者委員への苦情・要望内容の報告会

令和3年5月31日、各施設に寄せられた苦情・要望内容について第三者委員2人に報告した。なお、個々の苦情解決並びに直接、第三者委員が受け付けた案件はなかった。

6 職員配置状況(令和3年度末)

適正な職員配置を行い、業務に万全を期した。(単位：人)

事業別	施設名	常勤	非常勤 (嘱託医等含む)	兼務	合計
本部	事務局	4		(2)	4
身体障害者福祉 センターB型	静岡市清水みなと ふれあいセンター	4		(1)	4
生活介護事業所	静岡市清水 ひびきワーク	4	2	1	7
母子療育訓練 センター	静岡市清水 うみのこセンター	6	5		11
多機能型事業所	静岡市清水 うしおワーク	12	1	1	14
生活介護事業所	静岡市清水 うなばら学園	18	3		21
生活介護事業所	静岡市清水 なぎさホーム	8	6	(1)	14
相談支援事業	障害者相談支援 センターわだつみ	7		(1)	7
合 計		63	18	2(5)	83

7 事務局職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備考
事務局長	1		(1)	1	わだつみ管理者兼務
事務局次長	1		(1)	1	みなとふれあいセンター施設長兼務
事務員	2			2	
計	4	0	(1)	4	

8 職員研修等

職員の資質の向上、専門的知識、技能の習得を図るため、関係機関が開催する実務研修や各種研修会に積極的に参加した他、事業団職員研修計画に基づいて内部研修、階層別研修等を実施した。

(1) 職員研修実施状況

ア 階層別研修

実施日	研修名	参加職員	人数	主な内容
4月2日 4月5日 4月6日 4月7日	新規採用職員研修	令和3年度 新規採用職員	6人	組織についての基礎知識 利用者の処遇等について
4月7日	交通安全研修	令和3年度 新規採用職員	6人	公用車の使用について 教材(DVD)
4月7日	保健衛生研修	令和3年度 新規採用職員	6人	障害者施設の健康管理 感染症対策等
6月1日 6月2日	新規採用職員研修Ⅱ	令和3年度 新規採用職員	6人	利用者の処遇等について
9月3日 9月10日	初級職員研修	採用後 2～3年職員	3人	最近の福祉サービス 組織での役割について
10月1日	新規採用職員 採用後6か月研修	令和3年度 新規採用職員	1人	採用後6か月経過し、社会人 としての意識向上の振返り
1月24日	ハラスメント研修	管理職員	8人	ハラスメント防止における基 礎知識について学ぶ

イ 全体研修

7月29日	市政出前講座	全職員	65人	市障がい者共生のまちづくり 計画について
12月10日	AED講習会	全職員 (3年で全職員)	22人	AEDの使用方法を学ぶ
12月20日	情報セキュリティ 対策研修	全職員	65人	情報セキュリティの基本
3月1日	防災研修	全職員	65人	わが家と地域の防災対策

ウ 専門研修（外部研修）

実施日	研修名	参加職員	人数	主な内容
4月27日	監事監査研修会	理事長 事務局長	2人	会計監査のねらい等
5月26日	安全運転管理者 総会	施設長 (安管)	1人	安全運転管理者総会
5月27日	不当要求防止 責任者講習会	事務局次長	1人	不当要求行為等について
6月14日	相談支援従事者 初任者研修	副主任	1人	相談支援従事者基礎研修
8月2日	安全運転管理者 研修	施設長 (安管)	1人	安全運転管理者法定講習会
8月4日	電気安全講習会	事務局次長	1人	電気の安全な取り扱いについて学ぶ
8月5日	防災研修	事務局次長他	3人	インクルーシブ防災を学ぶ
9月24日	労務管理研修	事務局長	1人	労務管理のポイントについて
10月1日	相談支援従事者等 現任研修	生活支援員	3人	障害者ケアマネジメントを実行できる人材の育成
11月13日	サービス管理 責任者等実践研修	サービス 管理責任者	1人	サービス管理責任者の資質向上
11月11日	安全運転管理者 研修	事務局次長 (副安管)	1人	安全運転管理者法定講習会
11月15日	インソース 外部研修	准職員	1人	チームワーク入門研修
11月17日	防災研修	事務局員	3人	津波災害について
11月22日	全国社会福祉事業 団協議会	事務局次長	1人	全国社会福祉事業団協議会 全国大会
11月24日	インソース 外部研修	生活支援員	1人	OJT指導者研修
11月25日	インソース 外部研修	准職員	1人	コミュニケーション研修
1月24日	虐待防止・権利 擁護研修	サービス 管理責任者	1人	障害者虐待を防止するための 育成研修
2月3日	東海北陸 ブロック会議	事務局次長	1人	東海北陸ブロック幹部職員研 修
2月7日	改正育児・介護休業 法説明会	事務局次長	1人	法改正説明会

エ 視察研修（コロナ禍により未実施）

オ OJT制度及びメンター制度の実施

制度名	内容等	対象人数
OJT	新規採用職員や施設間の職員配置換えに伴う異動後間もない職員に対して、有効で実践的な接遇技術を「利用者の処遇に関する支援マニュアル」等を通じて実施した。	11人
メンター	新規採用職員を対象にメンティ(被育成者)をマッチングし、業務だけにとどまらず、スキル形成、人間関係の構築等、併せて法人の中長期的な成長を見込み、メンターの組織人としての成長支援を実施した。 併せて、メンターリーダーを配置したうえでメンター報告会を実施し、情報交換会やメンターに対してのケアに努めた。	5人

(2) 職員の主な国家資格取得状況 (※重複取得者あり)

資格名	人数
社会福祉士	10人
精神保健福祉士	2人
介護福祉士	20人
保健師・看護師	5人
公認心理師	1人
作業療法士	1人
合計	39人

9 体験実習等の受入れ

事業団内福祉施設の体験学習や実習、施設見学等、積極的に受け入れた。

受入団体名	人数
新規採用職員候補者	3人
嘱託職員採用試験受験者	17人
南部特別支援学校保護者・教員	5人
求人紹介企業渉外担当者	6人
本法人役員	12人
児童発達支援事業所職員	2人
合計	45人

10 情報公開等

事業団各施設の概要、事業内容、収支決算等を事業団だより「つばさ」（年1回[8月]・2,500部）を発行した他、ホームページを随時更新し、最新情報を公開した。

11 防災関係

(1) 総合防災訓練

年3回（9月・11月・3月）、事業団全施設を対象に地震による火災発生を想定した初期消火訓練、避難誘導訓練、津波避難訓練、通報訓練のほか、建物の倒壊等により道路が遮断され帰宅困難を想定した炊出し訓練等の総合防災訓練を実施した。

(2) 防災備蓄品

緊急時に備え、食料・保存水（200人分・7日程度）の他、発電機（4台）、寝袋（200個）、簡易トイレ、ハロゲンライト（4基）等を備蓄している。また、静岡市の防災倉庫を敷地内に設置し、浄水機や受水槽等の資機材を保管している。

12 地域における公益的な取組み

内 容	回数
地域の3公園の清掃活動	12回
地域歩行者用道路及びガードレール清掃	18回
地域のカーブミラー清掃	4回
近隣宅地横市有地の清掃	3回

13 その他

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策を検討するため、感染対策委員会を年12回開催した。
- (2) 虐待防止及び虐待を疑う事案発生時の対応の徹底を図るため、虐待防止対応規程策定委員会を立上げ規程の整備を図った。
- (3) 令和3年度から令和7年度までの第2期経営計画に従って、法人として利用者サービスの充実、安定した経営基盤の確立、人材育成、地域福祉の向上に取り組んだ。また、経営会議を実施し、今後の事業運営について協議を行った。

II 静岡市清水みなとふれあいセンター（身体障害者福祉センターB型）

在宅障害者を対象に機能訓練や創作的活動を行った他、障害者団体が実施する事業の運営協力、広報紙等の啓発活動、地域福祉活動、静岡市委託事業の開催、施設提供等各種事業を実施した。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備 考
施設長	1		1	1	事務局次長兼務
指導員	3			3	
計	4	0	1	4	

2 事業の実施状況

(1) 教室の開催

ア 機能訓練

書道・ペン習字・陶芸等 8 教室実施

イ 体力増進

卓球・ボッチャ・水中運動・グラウンドゴルフ・エンジョイスポーツ等の 18 教室実施

月	機能訓練		体力増進	
	実施回数	参加延人数	実施回数	参加延人数
4	6	38	14	151
5	5	33	12	127
6	8	54	15	148
7	6	37	12	114
8	3	13	8	79
9	0	0	0	0
10	6	33	16	155
11	5	36	15	156
12	6	38	15	129
1	6	36	12	108
2	5	28	13	97
3	6	33	13	123
計	62	379	145	1,387

(2) 障害者福祉団体等への事業運営協力

ア オレンジ杯ふれあいグラウンドゴルフ大会協力

※年間計画で予定していた 9 事業は、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

(3) 啓発活動

- ア みなとだより（広報紙）の発行（定期発行 12 回、感染対策等臨時発行 1 回）
- イ 事業団広報誌「つばさ」の発行（1 回）

(4) 地域福祉活動

- ア 駒越地区企画委員会への参画（4 月、12 月参加。他月中止）
- ※年間計画で予定していた 6 事業は、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

(5) 静岡市委託事業

- ア 手話奉仕員養成講座

区 分		開催月	実施回数	会 場	参加人数	参加延人数
清水区	昼の部	4 月～10 月	21 回	中央福祉センター	19 人	329 人
葵区 駿河区	夜の部	4 月～10 月	21 回	はーとぴあ清水	32 人	573 人
合 計			42 回		51 人	902 人

※昼・夜の部とも年 46 回開催予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため、前期分のみ開催し、後期分は令和 4 年度開催となった。

- イ 要約筆記者養成講座

区 分	開催月	実施回数	会 場	参加人数	参加延人数
手書きコース	4 月～7 月	10 回	中央福祉センター	1 人	10 人
合 計		10 回		1 人	10 人

(6) 会議室、運動広場等の施設利用(外部)

区 分	件数
会議室	0 件
運動広場	48
多目的ホール	1
計	49

(7) 新型コロナウイルス感染症による事業中止の際の代替事業

- ア 電話相談業務等 (単位：件)

内容	電話・FAX・対面	家庭訪問
相談支援	32	86
独居者健康観察等	11	34
計	43	120

※この他、活動休止に伴う電話連絡を行った。

イ 広報誌の臨時発行（1回）

ウ 内部職員研修の実施

内 容	回数
福祉サービス等の理解	3
障がい者スポーツの指導法・体験	6
ホームページ作成研修	2

エ 代替活動の検討

新規スポーツ導入のための道具作成

単発事業の実施計画

オ 施設、備品の点検及び補修

下駄箱補修、備品車椅子点検・整備他

カ 新型コロナウイルス感染症対策

三密を避けた活動内容、実施方法（グループ編成）の検討

送迎車の定員及び送迎ルートの見直し

Ⅲ 静岡市清水ひびきワーク（生活介護事業所：定員 20 名）

利用者が望む生活の実現を支援するための個別支援計画を作成し、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう創作的活動及び生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

生産活動は、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

また、希望する利用者には、バスや小型車で（静岡市清水うしおワーク利用者、静岡市清水うなばら学園利用者と同乗）送迎を行うとともに、バス停までの移動が困難な利用者が増えていることから個別送迎の試行を実施した。

なお、利用時間の延長の取組みとして、利用時間前・後に延 234 人を受入れる等、概ね計画どおり進めることができた。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備 考
管理者 (施設長)	1			1	
サービス 管理責任者	1			1	
生活支援員	2	1		3	
看護師		1	1	1	なぎさホーム兼務
医 師		1		1	嘱託医
計	4	3	1	7	

2 利用者の状況（令和 3 年度末利用契約人員：14 人）

(1) 年齢別（単位：人）

年齢 性別	～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	計	平均年齢	最長 年齢	最少 年齢
男	0	0	4	4	1	9	50.8 歳	64 歳	44 歳
女	0	1	2	1	1	5	50.6 歳	68 歳	39 歳
計	0	1	6	5	2	14	50.7 歳		

(2) 在所期間（単位：人）

年数 性別	5 年未満	5～10 年	10～15 年	15～20 年	20 年以上	計	平均在所 年数
男	1	1	1	1	5	9	20.3 年
女	0	1	0	0	4	5	24.8 年
計	1	2	1	1	9	14	22.5 年

(3) 身体障害者手帳所持者 (単位：人)

等級 性別	1	2	3	4	5	6	計
男	5	2	1	0	1	0	9
女	3	1	1	0	0	0	5
計	8	3	2	0	1	0	14

(4) 障害支援区分(受給者証) (単位：人)

区分 性別	1	2	3	4	5	6	計	平均
男	0	0	2	2	3	2	9	
女	0	0	2	0	3	0	5	
計	0	0	4	2	6	2	14	4.4

(5) 入退所状況

入所	退所
0人	2人

(6) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	22日	15人	232人
5	21	15	201
6	23	15	242
7	23	15	223
8	23	15	231
9	22	15	227
10	23	15	225
11	22	15	223
12	23	14	221
1	22	14	201
2	20	14	187
3	23	14	231
計	267	—	2,644

3 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
外岡作業所	箱折（ケーキトレー、菓子の箱折り・糊付け、ひも通し）
蒔田紙器(株)	ダンボール型抜き、組み（薬品梱包用）
安藤紙業(株)	分別作業

(2) 収入状況

年度別	令和3年度	令和2年度	増減
収入金額	891,166円	910,738円	△19,572円

(3) 工賃支給状況（月額）

最 高	最 低	平 均
23,080円	370円	5,397円

4 主要行事等

行事名	実施月	回数
選択活動、外出活動（蓬莱橋）		中止
スポーツ巡回指導（県障害者スポーツ協会指導）		中止

※ 新型コロナウイルス感染症対策のため、買い物活動やバスハイク等は中止した。

※ その他、避難訓練（毎月1回）、健康診断（11月）、インフルエンザ予防接種（希望者）、新型コロナウイルスワクチン接種（希望者）、結核検診を行った。

5 体験実習及びボランティア等の受入状況

区 分	延人数
利用者見学、体験、実習	18人
ボランティア	10人
大学、専門学校生等の見学、実習、体験	10人
その他（スポーツ体験）	12人
合 計	50人

6 利用者、保護者との連絡調整

利用者及び保護者との個別面談や三者による面談会を行い、利用者へのサービスの向上に努めた。

IV 静岡市清水うみのこセンター(母子療育訓練センター)

発達が気になる乳幼児の早期発見、早期療育を目的に、療育相談や指導、生活自立への支援等を行うとともに、一人ひとりの状況に応じた発達支援、子育て支援に努めたほか、ビデオを用いたペアレントトレーニングの定期的な開催、心理職スタッフによる発達相談などを行った。

また、保健センター主催の遊びの教室他、早期発達支援の場である「ばすてるひろば」に定期的に職員を派遣し、スムーズに療育につなげるよう努めた。

なお、新型コロナウイルス感染症への対応として事業を行う際は、検温、体調確認、手指消毒、施設内の定期的な換気、参加人数の調整を行い感染防止対策の徹底を図った。

1 職員の配置状況(単位：人)

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備 考
施設長	1			1	
指導員	5			5	
公認心理師		1		1	
医師		1		1	嘱託医
臨床発達心理士		3		3	
計	6	5	0	11	

2 利用状況調べ(単位：人)

月別	訓練	交流保育	特別指導	訪問指導	相談業務	合 計
4	191	0	4	4	240	439
5	166	17	5	4	125	317
6	155	38	4	92	141	430
7	176	21	6	59	177	439
8	142	0	6	6	242	396
9	166	0	5	0	214	385
10	184	14	7	3	178	386
11	169	20	4	7	147	347
12	191	16	5	3	151	366
1	169	0	3	5	278	455
2	156	0	6	3	294	459
3	167	0	5	5	164	341
計	2,032	126	60	191	2,351	4,760

※ 8月、9月の緊急事態宣言、2月、3月のまん延等防止等重点措置発令期間中は、グループ活動を中止し、個別活動のみ実施した。

[年度別登録者数等調]

年度別	登録者数	延利用者数
令和2年度	213人	4,387人
令和3年度	205人	4,760人

3 主要行事

行事名	実施月	回数	延参加者
特別支援学校・特別支援学級見学	6月・7月	19回	32人
母親教室（年長児）	随時	5回	67人
母親教室（その他）	随時	7回	62人
みんなでほっとする会（親同士の懇談会）	随時	5回	26人
父親参加会	2月	1回	12人
避難訓練	9月・11月・3月	3回	19人

《その他》

- (1) 臨床発達心理士による療育相談会を年26回実施した。
- (2) 清水、蒲原保健センター主催のフォローアップの会に参加（年間17回）し、課題のあるケースへのアプローチや当センターの療育につなげていくため、積極的な働きかけを行った。
- (3) コミュニケーション発達を促すビデオを上映するペアレントトレーニングを7回実施した。

4 他機関との連携

他機関、関係団体等に対して、必要に応じて職員を派遣し、連携を図った。

内 容	回数
清水・蒲原保健センター職員派遣	17回
こども園・保育園・幼稚園・児童発達支援事業所訪問	52園
静岡市幼児言語教室との連絡会	1回
清水区こども園等との連絡会	随時
就学支援における教育委員会との連携	随時

5 新型コロナウイルス感染症による事業中止の際の代替事業

- (1) 電話相談業務の充実
 - ア 電話相談
 - イ 各家庭への電話による状況確認
 - ウ 活動内容及び時間帯の変更の連絡

- (2) ZOOMの活用
 - ア 入園説明会
 - イ 新入園児母親教室
 - ウ 年長児母親教室（2回）
 - エ 父親教室
- (3) 施設備品等点検及び補修
- (4) 新型コロナウイルス感染症対策に応じた活動内容の検討
 - ア 活動時間の調整、活動内容・方法の検討
 - イ 活動内容変更に伴う備品の準備

V 静岡市清水うしおワーク（多機能型事業所・定員：50名）

定員30名の生活介護事業と定員20名の就労継続支援B型事業の多機能型事業所として事業を行った。

また、利用時間の延長の取組みとして、利用時間前・後に延1,851人を受入れる等、概ね計画どおり進めることができた。

I 生活介護事業・定員30名

利用者が自立した日常生活又は社会活動を営むことができるよう個別支援計画を作成し、創作的活動や生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

生産活動については、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

また、希望する利用者には、バスや小型車（静岡市清水ひびきワーク利用者、静岡市清水うなばら学園利用者と同乗）で送迎を行った。

1 職員の配置状況(単位:人)

	常勤	非常勤	兼務	計	備考
管理者 (施設長)	1		(1)	1	就労継続支援B型・ 生活介護生活支援員兼務
サービス 管理責任者	1		(1)	1	就労継続支援B型と兼務
生活支援員	5		(1)	5	
運転士兼 生活支援員	2		(2)	2	就労継続支援B型と兼務
看護師			1	1	なぎさホーム兼務
医師		1		1	嘱託医
計	9	1	1(5)	11	

2 利用者の状況(令和3年度末利用契約人員：30人)

(1) 年齢別(単位:人)

年齢 性別	～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	平均 年齢	最長 年齢	最少 年齢
男	2	3	8	9	1	23	45.1歳	62歳	19歳
女	1	0	3	2	1	7	47.3歳	67歳	20歳
計	3	3	11	11	2	30	45.6歳		

(2) 在所期間(単位:人)

年数 性別	5年未満	5～10年	10～15年	15～20年	20年以上	計	平均在所 年数
男	2	2	1	4	14	23	21.3年
女	1	1	0	0	5	7	22.9年
計	3	3	1	4	19	30	21.7年

(3) 療育手帳所持者 (単位:人)

区分 性別	A	B	計
男	20	3	23
女	6	1	7
計	26	4	30

(4) 障害支援区分 (受給者証) (単位:人)

区分 性別	1	2	3	4	5	6	計	平均
男	0	0	2	10	11	0	23	
女	0	0	1	4	1	1	7	
計	0	0	3	14	12	1	30	4.4

(5) 入退所状況

入所	退所
1人	2人

(6) 利用状況

月	開所日数 日	契約実人数 人	利用延人数 人
4	22	32	658
5	21	32	576
6	23	32	662
7	23	32	643
8	23	31	619
9	22	31	617
10	23	31	639
11	22	31	602
12	23	31	614
1	22	31	584
2	20	30	534
3	23	30	641
計	267	—	7,389

3 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
ベイプレス	チラシ配り
(有)鈴恵工業	プラスチック製品の袋詰め
(株)日立ジョンソン コントロールズ空調	エアコン部品の加工
安藤紙業(株)	古紙回収
(株)池田ネジ商会	ネジの組込み

(2) 収入状況

年度別	令和3年度	令和2年度	増減
収入金額	2,036,490円	1,863,359円	173,131円

(3) 工賃支給状況(月額)

最 高	最 低	平 均
8,500円	100円	2,536円

4 主要行事等(レクリエーション活動)

行事名	実施月	回数	延人数
映画鑑賞	5月、1月	2回	21人
音楽コンサート	7月(2回)、8月、12月	4回	48人
体力測定会	9月	1回	13人
運動会	5月	1回	14人
マラソン大会	10月	1回	12人
その他スポーツ (軽スポーツ、球技大会)	6月、10月、12月(2回)	4回	47人
防災体験	11月	1回	12人
季節の行事	11月、1月、2月	3回	39人
その他、レク活動	随時	17回	110人

※ 新型コロナウイルス感染症対策のため、年間計画で予定していた行事が中止となったが、代替えとして、スポーツやレクリエーションを行い、日中活動の充実を図った。

《その他》

- (1) 避難訓練を毎月1回実施した。
- (2) 運動支援事業（歩行・ティーボール・ランニング）等、共通する事業は就労継続支援B型事業の利用者と一緒に行った。
- (3) 体重測定、血圧測定及び染出しブラッシング指導を毎月1回実施した。
- (4) 歯科検診（10月）、健康診断（10月）の保健支援事業及びインフルエンザ予防接種（希望者）、新型コロナウイルスワクチン接種（希望者）、結核検診を実施した。

5 体験実習及びボランティア等の受入状況（就労継続支援B型事業と共通）

区 分	延人数
ボランティア	89人
大学、専門学校生等の実習	20人
特別支援学校生徒、教員見学	12人
在宅または、他事業所利用者見学	6人
体験実習（入所希望者）	14人
合 計	141人

6 家庭との連携

施設の様子や行事予定を掲載した「うしおかわら版」を毎月発行するとともに、利用者及び保護者に対しては、連絡ノートや電話を利用して情報共有を行った。

また、個別支援計画等に沿った支援を適切に行うために、個別面談会等を実施し、家庭との連携を図った。

II 就労継続支援B型事業・定員 20名

利用者が自立した日常生活又は社会活動を営むことができるよう個別支援計画を作成し、生産活動の機会の提供、その他の支援を適切かつ効果的に行った。

生産活動については、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

また、希望する利用者にはバスや小型車（静岡市清水ひびきワーク利用者、静岡市清水うなばら学園利用者と同乗）で送迎を行う他、公共交通機関を使って通所する利用者に対しては、交通ルールや利用マナーを順守するよう支援した。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備 考
管理者 (施設長)	1		(1)	1	生活介護事業所と兼務
サービス 管理責任者	1		(1)	1	生活介護事業所と兼務
生活支援員	1			1	
職業指導員	1			1	
運転士兼 生活支援員	2		(2)	2	就労継続支援B型と兼務
目標工賃達成 指導員	1			1	
計	7		(4)	7	

2 利用者の状況（令和3年度末利用契約人員：19人）

(1) 年齢別（単位：人）

年齢 性別	～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	平均 年齢	最長 年齢	最少 年齢
男	1	2	8	2	4	17	48.7歳	72歳	19歳
女	0	0	1	0	1	2	55.0歳	70歳	40歳
計	1	2	9	2	5	19	49.4歳		

(2) 在所期間（単位：人）

年数 性別	5年未満	5～10年	10～15年	15～20年	20年以上	計	平均在所 年数
男	4	3	3	1	6	17	15.0年
女	0	1	0	0	1	2	23.1年
計	4	4	3	1	7	19	15.9年

(3) 療育手帳所持者(単位:人)

区分 性別	A	B	計
男	7	10	17
女	0	2	2
計	7	12	19

(4) 障害支援区分(受給者証) (単位:人)

区分 性別	無	1	2	3	4	5	6	計
男	7	0	0	4	5	1	0	17
女	1	0	0	0	1	0	0	2
計	8	0	0	4	6	1	0	19

(5) 入退所状況

入所	退所
2人	0人

(6) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	22日	18人	378人
5	22	18	347
6	23	18	383
7	23	18	372
8	23	18	370
9	22	19	379
10	23	19	397
11	22	19	388
12	23	19	391
1	22	19	368
2	20	19	346
3	23	19	408
計	268	—	4,527

3 生産活動

(1) 内容

事業所名	内 容
(株)日立ジョンソン コントロールズ空調	エアコン部品の加工
ボカシ作業	ボカシ製造、袋詰
(株)ニッケー工業	エアコン部品の加工
安藤紙業(株)	古紙回収
(株)池田ネジ商会	ネジの組込み

(2) 収入状況

年度別	令和3年度	令和2年度	増減
収入金額	5,338,217円	4,592,194円	746,023円

(3) 工賃支給状況（月額）

最 高	最 低	平 均
34,412円	10,054円	19,114円

4 職場(体験)実習

他事業者からの入所希望者に対し、職場体験実習を行った。

5 就職の状況

就職者はなかった。

6 主要行事等（レクリエーション活動）

行事名	実施月	回数	延人数
映画鑑賞	5月、1月	2回	21人
音楽コンサート	7月(2回)、8月、12月	4回	36人
体力測定会	9月	1回	11人
運動会	5月	1回	8人
マラソン大会	10月	1回	9人
軽スポーツ、球技大会	6月、10月、12月(2回)	4回	50人
防災体験	11月	1回	10人
季節の行事	11月、1月、2月	3回	34人
その他レク活動	随時	17回	96人

※ 新型コロナウイルス感染症対策のため、年間計画で予定していた行事が中止となったが、代替えとして、スポーツやレクリエーションを行い、日中活動の充実を図った。

(4) 歯科検診（10月）、健康診断（10月）の保健支援事業及びインフルエンザ予防接種（希望者）、新型コロナウイルスワクチン接種（希望者）、結核検診を実施した。

7 体験実習及びボランティア等の受入状況（生活介護事業と共通）

区 分	延人数
ボランティア	89人
大学、専門学校生等の実習	20人
特別支援学校生徒、教員見学	12人
在宅、又は他事業所利用者見学	6人
体験実習（入所希望者）	14人
合 計	141人

8 家庭との連携

施設の様子や行事予定を掲載した「うしおかわら版」を毎月発行するとともに、利用者及び保護者に対しては、連絡ノートや電話を利用して情報共有を行った。

また、個別支援計画等に沿った支援を適切に行うために、個別面談会等を実施し、家庭との連携を図った。

VI 静岡市清水うなばら学園（生活介護事業所：定員 60 名）

利用者が望む生活の実現を支援するための個別支援計画を作成し、それぞれの障害特性に配慮し充実した生活が送れるよう、生活、学習、作業支援等を実施した。

生産活動については、木工、手芸の自主製品の他、受注先である企業との連絡を密にして安定した作業量の確保に努めた。

また、希望する利用者にはバス及び小型車（静岡市清水ひびきワーク利用者、静岡市清水うしおワーク利用者と同乗）で送迎を行った。

なお、利用時間の延長の取組みとして、利用時間前・後に延 409 人を受入れる等、概ね計画どおり進めることができた。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備考
管理者 (施設長)	1			1	
サービス 管理責任者	1			1	
生活支援員	12			12	
看護師兼 生活支援員	1			1	
運転士兼 生活支援員	2			2	
業務員		1		1	
医 師		1		1	嘱託医
計	17	2	0	19	

2 利用者の状況（令和 3 年度末利用契約人員：52 人）

(1) 年齢別（単位：人）

年齢 性別	～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	計	平均 年齢	最年長	最年少
男	12	12	13	4	0	41	36.4 歳	53 歳	21 歳
女	1	4	5	1	0	11	40.2 歳	52 歳	26 歳
計	13	16	18	5	0	52	37.2 歳		

(2) 在所期間（単位：人）

年数 性別	5 年未満	5～10 年	10～15 年	15～20 年	20 年以上	計	平均在所 年数
男	4	10	5	8	14	41	16.9 年
女	0	1	1	3	6	11	22.4 年
計	4	11	6	11	20	52	18.1 年

(3) 療育手帳所持者 (単位:人)

区分 性別	A	B	計
男	39	2	41
女	11	0	11
計	50	2	52

(4) 障害支援区分(受給者証) (単位:人)

区分 性別	1	2	3	4	5	6	計	平均
男	0	0	0	4	18	19	41	
女	0	0	0	0	5	6	11	
計	0	0	0	4	23	25	52	5.5

(5) 入退所状況

入所	退所
1人	2人

(6) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	22日	53人	981人
5	21	53	916
6	23	53	1,010
7	23	53	982
8	23	53	1,034
9	22	53	983
10	23	53	1,018
11	22	53	981
12	23	53	972
1	22	53	934
2	20	52	834
3	23	52	940
計	267	—	11,585

3 生産活動

(1) 内容

内容	事業所名等	内 容
請負作業	安藤紙業(株)	CDソフト等の分解・分別、油取り紙作成
	リサイクル	アルミ缶つぶし・卵の殻肥料作成
自主作業	手芸	刺し子・袋物等
	木工	花台・キーホルダー プランターアクセサリー等の切り出し

(2) 収入状況

年度別	令和3年度	令和2年度	増減
収入金額	670,058 円	300,068 円	369,990 円

(3) 工賃支給状況（月額）

最 高	最 低	平 均
2,022 円	222 円	931 円

4 主要行事等

行事名	実施月	回数	延人数
個別活動 (動物園、ハイキング、いちご狩り等)	随時	9回	43人
班活動(バスハイク等)	随時	26回	228人
クラブ活動(スポーツ・音楽)	随時	52回	1,101人
四季の活動 (スポーツ大会、夏レク、焼き芋大会、新年会)	5月、7月、 11月、1月	4回	128人
クリスマス会	12月	1回	45人

※新型コロナウイルス感染症対策のため、年間計画で予定していた外出行事が中止となったため、施設内での行事に切り替えるなどして、日中活動の充実を図った。

《その他》

- (1) 避難訓練・体重測定を毎月1回実施した。
- (2) 健康診断1回、血液検査(希望者)、インフルエンザ予防接種(希望者)、新型コロナウイルスワクチン接種(希望者)、結核検診、歯科検診をそれぞれ年1回行った。

5 体験実習及びボランティア等の受入状況

区 分	延人数
大学、専門学校生の実習	30人
合 計	30人

6 家庭との連携

施設の様子や行事予定を掲載し、日々の活動の様子が伝わるよう写真を掲載した「うなばら学園だより」を毎月発行した。

各利用者に対しては、連絡ノートや電話を利用し情報共有を行った。

また、個別支援計画等作成に当たっては、個別面談を実施し、家庭との連携を図った。

Ⅶ 静岡市清水なぎさホーム（生活介護事業所：定員 20 名）

在宅の重度障害者を対象に、日常生活訓練を主体とした支援を行い、身辺自立機能の維持や社会参加及び家庭介護の軽減を図った。

また、新たに法人内の他施設職員を講師に陶芸やスポーツを実施し、日中活動の充実を図った。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備考
管理者 (施設長)	1			1	
サービス 管理責任者	1			1	
生活支援員	5	3	(1)	8	管理者兼務
看護師兼 生活支援員	2	1	(1)	3	
医 師		1		1	嘱託医
計	9	5	(2)	14	

※看護師 1 名は、「静岡市清水ひびきワーク」「静岡市清水うしおワーク」を兼務。

2 利用者の状況（令和 3 年度末利用契約人員：13 人）

(1) 年齢別（単位：人）

年齢 性別	～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50 歳以上	計	平均年齢	最長 年齢	最少 年齢
男	1	0	4	0	5	40.4 歳	48 歳	24 歳
女	4	3	0	1	8	30.6 歳	53 歳	21 歳
計	6	3	4	1	13	34.3 歳		

(2) 在所期間（単位：人）

年数 性別	5 年未満	5～9 年	10～14 年	15～19 年	20 年以上	計	平均在所 年数
男	1	2	0	0	2	5	12.4 年
女	2	4	2	0	0	8	8.1 年
計	3	6	2	0	2	13	9.7 年

(3) 身体障害者手帳所持状況（単位：人）

級 性別	1 級	2 級	無	計
男	2	1	2	5
女	7	0	1	8
計	9	1	3	13

※利用者全員療育手帳(A)を所持。

(4) 障害支援区分（受給者証）（単位：人）

区分 性別	1	2	3	4	5	6	計	平均
男	0	0	0	0	0	5	5	
女	0	0	0	0	0	8	8	
計	0	0	0	0	0	13	13	6.0

(5) 入退所状況

入所	退所
1人	2人

(6) 利用状況

月	開所日数	契約実人数	利用延人数
4	23日	14人	255人
5	20	14	215
6	24	14	246
7	22	14	245
8	23	14	263
9	22	15	246
10	23	15	269
11	22	15	256
12	22	13	238
1	21	13	229
2	20	13	213
3	24	13	247
計	266	—	2,922

3 主な活動内容

日常の日課として、個別の課題活動、レクリエーションゲーム、足浴、外気浴等を行った。
また水曜日（月1～3回）は、多目的ホールを使用して、運動的活動を行った。

4 主要行事等

行事名	実施月	回数	延人数
外出活動 (忠霊塔公園、IAI スタジアム日本平、御穂神社)	5月、7月 1月	3回	41人
誕生会	随時	9回	99人
季節行事 (夏祭り、クリスマス会、節分、ひなまつり)	随時	6回	61人
音楽療法	毎月	10回	110人
スポーツレクリエーション教室	6月、8月	2回	18人
陶芸教室	1月、2月	2回	26人
ライフサポート事業	随時	9回	29人

※その他、避難訓練（毎月1回）、体調チェック（毎日）、体重測定（毎月1回）、健康診断、血液検査（希望者）、インフルエンザ予防接種（希望者）、新型コロナウイルスワクチン接種（希望者）、結核検診を行った。

5 送迎サービス

送迎を希望する利用者（13人）に対して、毎日、個別送迎を実施した。

6 体験実習及びボランティア等の受入状況

区 分	延人数
ボランティア	22人
特別支援学校生徒等実習	4人
大学・専門学校生の実習	0人
施設見学	24人
合 計	50人

7 家庭との連携について

施設の様子や行事予定を掲載した「なぎさだより」を毎月1回配布した他、「家庭連絡ノート」による家庭と施設間の連絡や個別支援計画作成時における個別面談（年2回）の実施、日々の個別送迎時を通して、家庭との連携、連絡調整を図った。

Ⅷ 障害者相談支援センターわだつみ(相談支援事業)

I 特定相談支援事業・障害児相談支援事業

静岡市の指定を受けて、利用者が、そのライフステージに応じた自立した日常生活、又は社会生活が営むことができるよう、利用者やその家族からの相談に応じ、サービス等利用計画の作成及びモニタリングを行い、地域の障害児(者)とその家族の福祉の向上に努めた。

1 職員の配置状況(単位:人)

	常勤	非常勤	兼務	計	備考
管理者	1	0	(1)	1	事務局長兼務
相談支援専門員	5	0	(1)	5	
計	6	0	(2)	6	

※相談支援専門員1名は、障害者等相談支援兼務

2 計画作成の状況(単位:件)

区分		特定	障害児	合計	
計画		165	81	246	
継続		487	111	598	
計画・継続		15	15	30	
各種 加 算	初回	8	13	21	
	担当者会議	10	4	14	
	モニタリング	110	30	140	
	退院・退所	1	0	1	
	居宅連携	情報提供	1		1
		訪問会議	1		1
	入院時情報連携	訪問	0	0	0
		その他	0	0	0
	保育・教育等移行	情報提供		0	0
		訪問会議		0	0
	相談機関連携		0	3	3
	地域生活拠点		11		11
	地域体制強化		0		0
集中加算		3	3	6	

II 障害者等相談支援（知的）

静岡市から委託を受け、静岡市障害者等相談支援事業実施要綱に基づき、相談支援事業、障害児等療育支援事業、障害者虐待防止センター事業の各業務を実施し、障害児者等とその家族の福祉の向上を図った。

1 職員の配置状況（単位：人）

	常 勤	非常勤	兼 務	計	備 考
管理者	1	0	(1)	1	事務局長兼務
相談支援専門員	2	0	(1)	2	
計	3	0	(2)	3	

※相談支援専門員 1 名は、特定相談支援事業・障害児相談支援事業兼務

2 相談支援事業

(1) 相談支援実績

区 分		実 績
開設日数		242 日
相談支援	実人数	767 人
	延件数	3,969 件
個別支援計画	作成件数	0 件
	作成支援件数	0 件
個別支援会議	開催回数	18 回
	参加回数	52 回
自立支援協議会 開催・参加状況	事務局会議	10 回開催
	区連絡調整会議	2 回開催
	市連絡調整会議	2 回参加
	市自立支援会議	2 回参加

ア 実績の詳細(相談支援実人数)

区 分	障害者	障害児	計
実人数	631 人	136 人	767 人
うち、重複障害のある 人数(重心は除く)	0 人	0 人	0 人

イ 障害種別内訳(単位：延人数)

障害別 区分	知的 障害	発達 障害	身体 障害	重症 心身障害	精神 障害	高次脳 機能障害	その他	計
障害者	595	0	14	0	22	0	0	631
障害児	133	0	0	0	3	0	0	136
計	728	0	14	0	25	0	0	767

ウ 支援方法内訳(単位：件)

区分	訪問	来所 相談	同行	電話	メール	個別支 援会議	関係 機関	郵便	代行	計
身体障害	1	0	0	3	0	1	17	1	0	23
知的障害	188	95	140	1,072	132	67	2,030	27	75	3,826
精神障害	2	1	13	56	0	2	46	0	0	120
計	191	96	153	1,131	132	70	2,093	28	75	3,969

エ 年間相談延件数の支援内容別内訳 (単位：件)

内 容	件数	内 容	件数
福祉サービスの利用等に関する支援	1,713	生活技術に関する支援	212
障害や病状に関する支援	205	就労に関する支援	66
健康・医療に関する支援	404	社会参加・余暇活動に関する支援	25
不安の解消・情緒の安定に関する支援	436	権利擁護に関する支援	289
保育・教育に関する支援	82	障害者虐待に関する支援	15
家族関係・人間関係に関する支援	187	社会資源等の情報を共有するための 支援	13
家計・経済に関する支援	321	その他委託者が必要と認める支援	1
		合 計	3,969

(2) 相談支援体制の強化に関する取組み実績

区 分	年間実績
困難事例への対応	延 156 件
地域の相談機関への助言・指導	1 回
基幹相談支援センターとの連携	22 回
合 計	179 回

2 障害児等療育支援事業

(1) 訪問による療育指導

実施内容	対 象	実施回数	参加人数
母親教室 (福祉サービス利用説明会)	年長児の保護者	4 回	52 人
合 計		4 回	52 人

(2) 外来による専門的な療育相談、指導

実施内容	会 場	実施回数	参加人数
自立支援プログラム 「おしゃべり会 (S S T)」	はーとぴあ清水	1 回	2 人
自立支援プログラム 「スポーツを体験しよう」	静岡市しみず社会福祉事業団	1 回	6 人
自立支援プログラム 「料理をしてみよう」	はーとぴあ清水	1 回	3 人
合 計		3 回	11 人

(3) 障害児の通う保育園や障害児通園事業等の職員の療育技術の指導

区分	実施月	対象児	会 場	実施回数	参加人数
第 1 回	6 月	1 名	うど東保育園	1 回	4 人
第 2 回	6 月	1 名	矢部保育園	1 回	4 人
第 3 回	7 月	1 名	江尻幼稚園	1 回	6 人
第 4 回	8 月	1 名	東海幼稚園	1 回	4 人
第 5 回	8 月	1 名	蒲原聖母保育園	1 回	3 人
合 計				5 回	21 人

※臨床発達心理士による児の観察と研修を実施した。

(4) 療育機関に対する支援

実施内容	会 場	実施回数	参加人数
療育講演会 (放課後等デイサービス事業所対象)	はーとぴあ清水	1 回	33 人